

講義名	金融政策論【ユニティ特別 火6限】		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	羽森 直子		
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他	授業形態	
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

日本においては、長期にわたってデフレ（継続的な物価下落）が続き、現在も物価上昇率が低い水準にとどまっていることから、日本銀行の金融政策のあり方とその効果について関心が高まっています。では、そもそも金融政策とはどのような手段で実施され、どのような効果が期待されているのでしょうか。そして、非伝統的金融政策とはどのようなものなのでしょうか。この講義では、金融政策に関するより深い知識の修得を目的としています。

到達目標

この講義では、金融論の内容を発展させ、金融政策の効果とそれを行う中央銀行の役割について、より深く考察します。さらに現在実施されている非伝統的金融緩和政策についても言及します。受講生の皆さんが、この講義で得た知識をもとに、金融政策について自分自身の意見を持つことができるようになってほしいと考えています。

提出課題

オンライン授業期間中は、課題学修型で授業を行います。毎回講義資料とレポート課題についての情報をRYUKAポータル「講義連絡」に提供します。RYUKAポータルやメールをごまめにチェックし、期日を守ってレポート課題(小テストなど)をオンラインで提出してください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

レポート提出後に配布する授業資料の中で、講評と解説を行います。

評価の基準

毎回提出を求めるレポート課題によって評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

オンライン授業期間中は、毎回配布される資料をしっかりと自習し、レポート課題を期日までに提出してください。

金融政策論は金融論の応用分野ですので、本講義の内容を深く理解するためには「マクロ経済学」および「金融論」を履修していることが望ましいです。

以下は、大学での通常授業が再開された場合の注意事項です。参考までに、記しておきます。毎回の講義に出席してください。特に初回は講義概要について説明するので、必ず出席してください。授業の最初に小テストを実施しますので、遅刻しないようにしてください。講義中は私語を慎み、他の受講生の迷惑にならないようにしてください。

教科書

. 使用しません。

プリント資料及び参考文献

講義内で随時紹介しますが、ここでは1冊のみ紹介しておきます。

宮尾龍蔵 『非伝統的金融政策—政策当事者としての視点』 (有斐閣)

授業計画

1. 金融政策論とは何か
2. 中央銀行の役割と金融政策の枠組み
3. 日本銀行：歴史、日銀法の改正
4. 日本銀行：組織、独立性と責任説明
5. 日本銀行の金融政策の特徴：政策手段
6. 日本銀行の金融政策の特徴：最終目標、波及経路
7. 日本銀行の金融政策運営：ゼロ金利政策
8. 日本銀行の金融政策運営：量的緩和政策
9. 日本銀行の金融政策運営：包括緩和政策
10. 日本銀行の金融政策運営：量的・質的緩和政策
11. 日本銀行の金融政策運営：マイナス金利付き量的・質的緩和政策
12. 日本銀行の金融政策運営：非伝統的金融政策のまとめ
13. 主要国の非伝統的金融政策
14. 欧州中央銀行：特徴、歴史、組織
15. 欧州中央銀行の金融政策運営

授業形態（アクティブ・ラーニング）

- ア：PBL（課題解決型学習）
- イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
- ウ：ディスカッション、ディベート
- エ：グループワーク
- オ：プレゼンテーション
- カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

オンライン授業期間中毎回レポート課題を提出していただきますので、講義資料の内容についてしっかりと自習し、レポート課題を提出してください。（約3時間）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考